

令和6年度第2回ケアセンター出雲運営推進会議報告書

と き : 令和6年11月22日(金)

14:00～15:30

ところ : デイサービス 旧館会議室

出席者 事業者:株式会社ハピネライフー光

ハピネケアセンター出雲

施設長

グループホーム「すいせん渡橋」 管理者

小規模多機能ホーム「やわらぎ渡橋」 管理者

ケアマネージャー

委員: 出雲市役所高齢者福祉課

出雲高齢者あんしん支援センター

小規模多機能ホーム「やわらぎ渡橋」ご利用者家族

議題

1. 事業報告

小規模多機能ホーム「やわらぎ渡橋」 4月、5月

- ① 運営状況報告
- ② 利用者状況報告
- ③ 活動状況報告
- ④ 今後予定のレクリエーション報告
- ⑤ 研修実施報告
- ⑥ 事故報告
- ⑦ ヒヤリハット報告
- ⑧ その他

質疑応答

グループホーム「すいせん渡橋」

4月、5月

- ① 運営状況報告
- ② 活動報告
- ③ 今後予定のレクリエーション報告
- ④ 研修実施報告
- ⑤ ヒヤリハット報告
- ⑥ 事故報告
- ⑦ 改善事項報告

3. 質疑応答

意見交換の内容

○小規模の事故報告について

小規模の事故報告のことをお聞きしますが、いつ誤薬に気づかれたか、そのきっかけは何ですか。

もう1名の利用者様から違うと言われて気づきました。

たまたま1つは同じ薬、もう1つは便秘薬でしたので、幸いにも事なきを得ましたが、もし全く違う薬だったら生命の危険ということもあった重大な事故でした。以降は形骸化していたダブルチェックを見直し、必ずチェックすることを徹底しました。

迎えに行かれた時に薬を預かりますか。

個人ごとの袋に連絡ノートと薬が入っていて、それを預かっていたのに、取り違えてしまった。

同じ薬があったので間違える原因になったのかもしれませんが。

思い込みって怖いですね。

例えば、病院に行かれてこの薬が追加になったとか分かるんですか。

はい、薬の説明書を持ってきていただいて、これが追加になった薬とか、

利用者様本人から言われることもあるので分かります。それを看護師に見てもらい、その日はノートに書いたり職員に報告して、全員がそのことを分かるようにしています。

薬が増えた時とか大変ですね。

そうなんです。でもお薬は大事なもののなので。

○GHの事業報告について

事故報告は同じ方ですか。

はい。入居者様は同じで、(事故を)やってしまった職員も同じです。

26日のところで尻もちをついておられた時に頭を打っておられたんですか。

そうですね。ご本人が頭を打ったとおっしゃられたので、もう気づいた時にはもう転んでおられました。そういったことはしっかりとおっしゃることができる入居者様なので、受診をしてCTとレントゲンを撮っていただきました。

何も異常はなかったんですか。

はい、異常はありませんでした。

因みにヒヤリハット報告の一番最後のPトイレに移ろうとしてずり落ちられた方と5月14日の事故報告の方は同じ方ですか。

いいえ、違う方です。センサーマット設置の方が2名いらっしゃいますが、もう1人の方です。

入居者様のトイレ介助中に他の方のセンサーが鳴った時はどのように対応しておられますか。

私の場合だと、とにかく優先順位をつけていて、今絶対に手が離せなければ動きません。逆にパットを外して投げられる方であっても、とりあえず着けておきますと言って、そちらへ走って行って対応することもあります。

しかし、この3件事故があった87歳の方ですが、今現在はもう歩けなくなってこの転倒事故があってからは車椅子にさせていただいてます。それもあって端座位からの1歩2歩が出ないのですぐに動かれることは無いですが、とにかく自分の中で優先順位をつけて介助に走り回っています。

そのように忙しくしておられればお薬手帳を間違えても仕方ないという訳にはいかないですが・・・。

それは忙しいからという言い訳はできません。これはただただ確認ミスによるものです。お薬が事務所内に保管してありますが、個人ごとに分けているBOX棚をこの方の2段下にある方のものと間違えています。

本来間違えるはずがないと思いますが、その間違えた開けたBOX棚の中の手帳の名前を確認してなかったということです。まあ動揺していたこともあったとは思いますが、冷静に確認ができてなかったことだと思います。やはり複数の職員で確認するということができなかったということだと思います。もう一度ダブルチェックを徹底しないといけないと思います。太田様は初めて出席いただいておりますが、いかがでしょうか。

私も、グループホームに勤務していたので、夜勤の時は朝方の3時以降の時間帯は大変でした。お部屋の入口はカーテンにして見守り易くしたり、服薬もダブルチェックはしますが、意外とご自身の名前は分かりますので、本人様の前で「〇〇様ですよ」と名前の声掛けをして薬を服用していただいたりしていました。

とにかく薬というのが事故の中でも一番怖かったのです。

夜勤をしているとほんと「魔の時間帯」というのがあるんです。

皆さんが一斉に動き出すので、特にベッド上で介助している時に別の部屋で物音がしたら、とりあえず布団を被せたままで、そちらの介助に行くとか。私も一昨日便汚染でベッド上が大変なことになっている時に、あと2名の便汚染が重なり本当に一人でバタバタして大変でしたが、優先順位をつけてその方はベッドから落ちられないようにしておいて別の方の介助をしました。本当に重なります。

家族様に事情を説明してベッド棚をすとか、身体拘束にならない様家族に同意を得て夜間だけベッド棚をしたりして大変だったので、よくわかります。私の母親も空きが出たらグループホームに入れたらと思っているので、本当に職員の皆さんは大変だと思います。

ここの施設も薬の事故があったので、もうこれ以上対策のしようがないというところまで改善し、チェック表も職員で話し合い、薬を保管するケースも替えるなど、声出しはもちろんのこといろいろな改善を行いました。

薬を服用時に落とされる方もいらっしゃいますよね。

はい、おられます。薬を飲まれる時に職員が見ていても落とされて、後で席を立たれた後に薬が落ちていたりするのでしっかり確認するようにしています。

お薬が落ちないように口に入れていただくようにするのですが、ペッと吐きだされる方もおられます。

カップにお薬を入れて一緒に飲んでいただいたり、医師に相談してお薬を溶けるものに変更してもらって溶かして飲んでいただく方もいらっしゃいました。

このグループホームでもお薬を口からだされる方がおられたので、医師に相談して粒状の薬を粉砕して服用したりゼリーに混ぜて服用することがありました。お薬ゼリーはとても良かったです。

お薬ゼリーは本当に良かったです。週に2日朝食にパンが出ていたので、いちごジャムを混ぜたりしていたことを追い出しました。

お世話になり大変だと思います。以上です。

ありがとうございました。

グループホームのすいせん便りに駐車場で食事を摂っておられますが、テーブルが黒かったら確かに熱くなって大変だったでしょうね。

このテーブルはグループホームから持って出たもので、室内ではシックでいい感じですが、屋外の炎天下では燃えそうなくらい熱くなり大変でした。テーブルを出したりしている間にすぐ熱くなりました。

5月でも晴天の下ではテーブルが厚くなりますね。

5月でも今年は暑かったですね。例年のような程よい春らしい気候の日が少なかったような気がします。ものすごく暑いかに急に寒くなった感じです。

4. 閉会のあいさつ

そうしましたら、次回運営推進会議ですが、来月12月20日金曜日の14時から開催したいと思いますので、予定の程よろしく願いいたします。

それではこれで本日の運営会議を終わります。

ありがとうございました。

以 上